

講評

1 総評

本公募には、2者から応募申込書の提出があった。

まず、限られた公募のスケジュールの中、本公募の趣旨を理解し熱意を持って参加され、貴重な事業提案に向けてご努力をいただいた応募者の方々に対し、選考委員会として心からの敬意を表したい。各応募者から提出された「事業計画書」およびプレゼンテーションからは、神戸の都心・ウォーターフロントにおいて本格的に展開する再開発事業に対する関心の高さとともに、積極的かつ意欲的な取り組み姿勢が感じられた。

各応募者からの提案内容は、「ウォーターフロントのシンボルとなり、周辺施設・空間とも一体となって、賑わい創出等の相乗効果が期待できる施設の整備・運営を、自らの企画力・ノウハウ・実行力等を発揮し将来にわたって実施する」という本公募の趣旨を踏まえつつ、神戸市民のみならず神戸を訪れる人々にとって、都心・ウォーターフロントに新たな魅力と活力ある場の形成が期待できるものであった。

選考委員会での慎重な選考の結果、優先交渉権候補者に選考された企業連合体は、各審査項目のいずれの観点においても高い評価を得て、提案内容の独創性・発展性のみならず、事業の実施・運営面での実行性が高いと判断された。

2. 選評

選考された企業連合体による計画提案は、神戸のウォーターフロントで初めてとなる「大規模多目的アリーナ」であり、新たな賑わいの創出拠点として、観光・集客需要の増進や交流人口の増加とともに、都心・三宮再整備との相乗効果による地域経済の活性化が期待される提案であった。

「事業計画」においては、企業連合体（コンソーシアム）によるアセットマネジメントと企画・運営とが一体連携する組織体制となっており、将来の再投資計画（大規模修繕）の明確な位置付けもあり、事業の実施・運営面における安定性・継続性が評価された。

「施設計画」においては、アリーナを中心に歩行者専用のプラザやコリドーを設けることで、建物内外に一体感・連続感のある賑わい空間が創出され、施設利用者のみならず来訪者にとって親しみやすい施設構成・配置となっている。メインアリーナは、スポーツを中心としつつも音楽興行等の多目的な使用が可能な施設として整備するとともに、5Gなどの通信技術を活用した新しい観戦・鑑賞体験の提供、施設の管理・運営におけるエネルギーマネジメントによるCO2排出抑制やアフターコロナ社会における感染症対策などの取り組みも評価された。

「景観計画」においては、メインアリーナの持つボリューム感とダイナミックな外観が、新たな神戸のランドマークとなることを期待させる。とりわけ、大きなガラス面による開放感と透明感のあるファサード構成は、建築の内部空間とオープンスペースや周辺公共空間との視覚的なつながりを生み、魅力的なウォーターフロントの夜間景観の演出を可能とすることが評価された。

「実行力・説得力」においては、タウンマネジメント協議会との協調、周辺施設とのハード・ソフトにわたる連携への意欲が示され、提案施設の整備・運営にとどまらずウォーターフロントエリア全体の視点を持ちながら事業に取り組む姿勢が評価された。